



教 保 第 415 号
平成 30 年 12 月 18 日

各市町村教育委員会教育長 様

岩手県教育委員会事務局
保健体育課総括課

幼児児童生徒の交通事故防止並びに安全指導の徹底について

今月 17 日に北上市において、小学生が横断歩道を横断中に大型トラックにはねられ死亡するという痛ましい交通事故が発生しました。

児童生徒等に対する安全指導については、平成 30 年 4 月 25 日付け教保第 51 号により通知をしたところですが、その後も、歩行中や自転車乗用中の児童生徒が乗用車と接触するなど交通事故が発生しており、大変憂慮すべき状況にあります。

つきましては、これからの冬季間は、天候や道路状況の変化に伴う事故の増大が懸念されますことから、貴管内各幼稚園・小・中学校及び義務教育学校に対して、改めて下記留意事項について冬季休業中も含め指導の徹底をお願いいたします。

記

交通安全指導の強化における留意事項

- 1 道路を横断する時は、左右の安全を必ず確認し、横断歩道を渡ること。
- 2 近くに横断歩道がない場合は、明るい場所や見通しのよい安全な場所を選び、左右の安全確認を徹底し、無理な横断をしないこと。
- 3 青信号のときでも横断歩道を横断する場合でも、「止まる・見る・待つ」など左右の安全確認をし、車が止まってから横断すること。
- 4 反射材等を積極的に活用すること。
- 5 自転車等を運転する際は、歩行者・横断者・車両等に注意し、安全運転をすること。また、夕方はライトを早めに点灯すること。
- 6 文部科学省『「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育』（平成 22 年 3 月）等を参考に、児童生徒等の発達段階に応じた安全教育の徹底を図ること。
- 7 登下校時の交通事故防止について、交差点での見守りなど、保護者やスクールガードリーダー、警察等関係機関と連携し、児童生徒等が安全で安心して登下校ができるよう体制整備の充実を図ること。

【学校健康安全担当】

指導主事 平澤 恒子

TEL : 019-629-6188